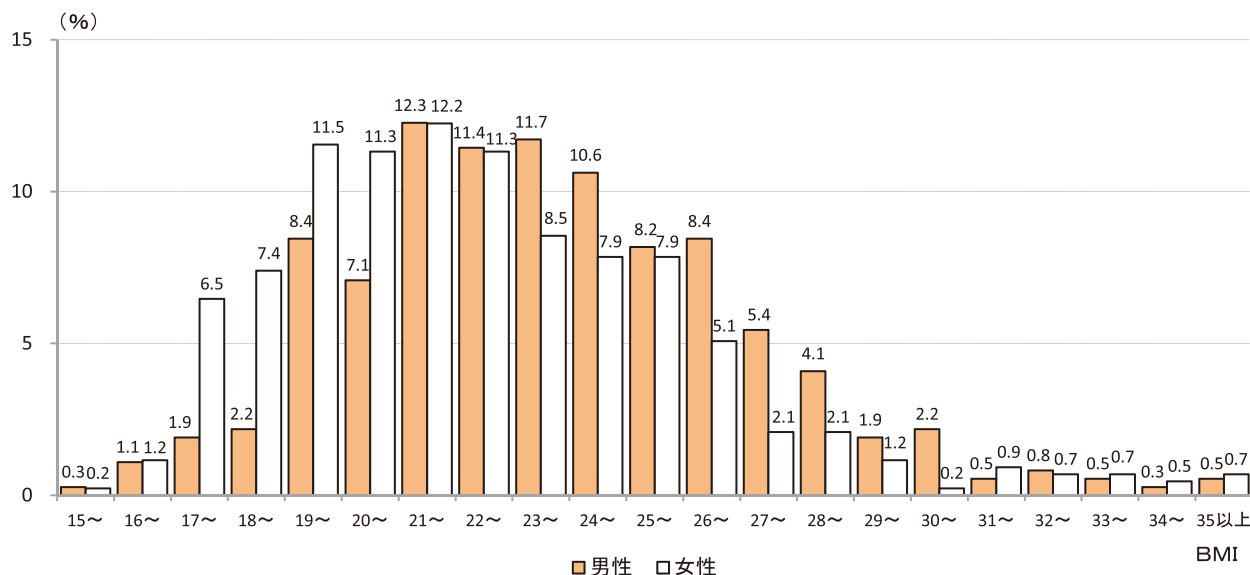


## 7 身体の状態

### ◆BMIの分布

BMIは、男女ともに21以上22未満の者が最も多かった。

【図100】 BMIの分布(性別、18歳以上)

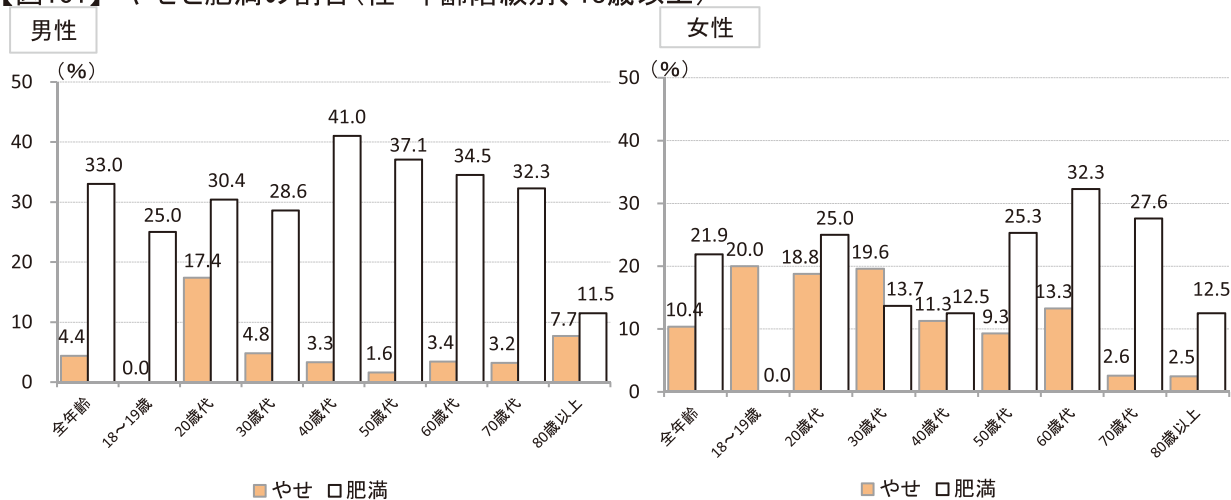


### ◆やせ及び肥満の割合

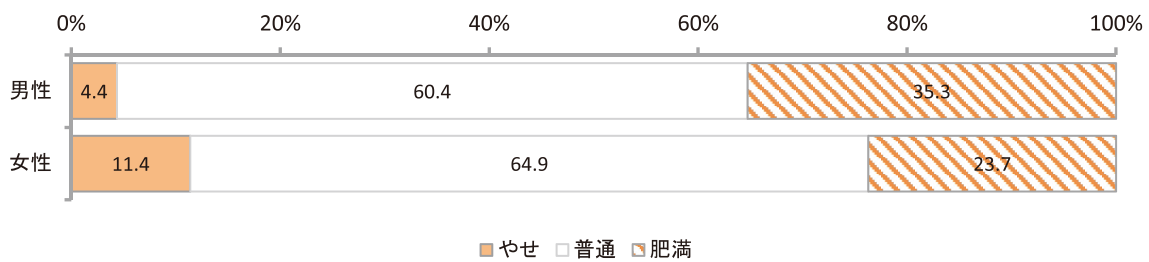
男性のやせの割合は、20歳代で17.4%と最も高く、次いで80歳以上で7.7%だった。肥満の割合は、40歳代で41.0%と最も高く、20歳代、50~70歳代でも30%を超えていた。

女性のやせの割合は、18~19歳で20%と最も高く、次いで30歳代で19.6%だった。肥満の割合は、60歳代で32.3%と最も多く、20歳代、50歳代及び70歳代でも25%を超えていた。

【図101】 やせと肥満の割合(性・年齢階級別、18歳以上)



【図102】 特定の世代のやせ及び肥満割合(男性:20~60歳代、女性:40~60歳代)

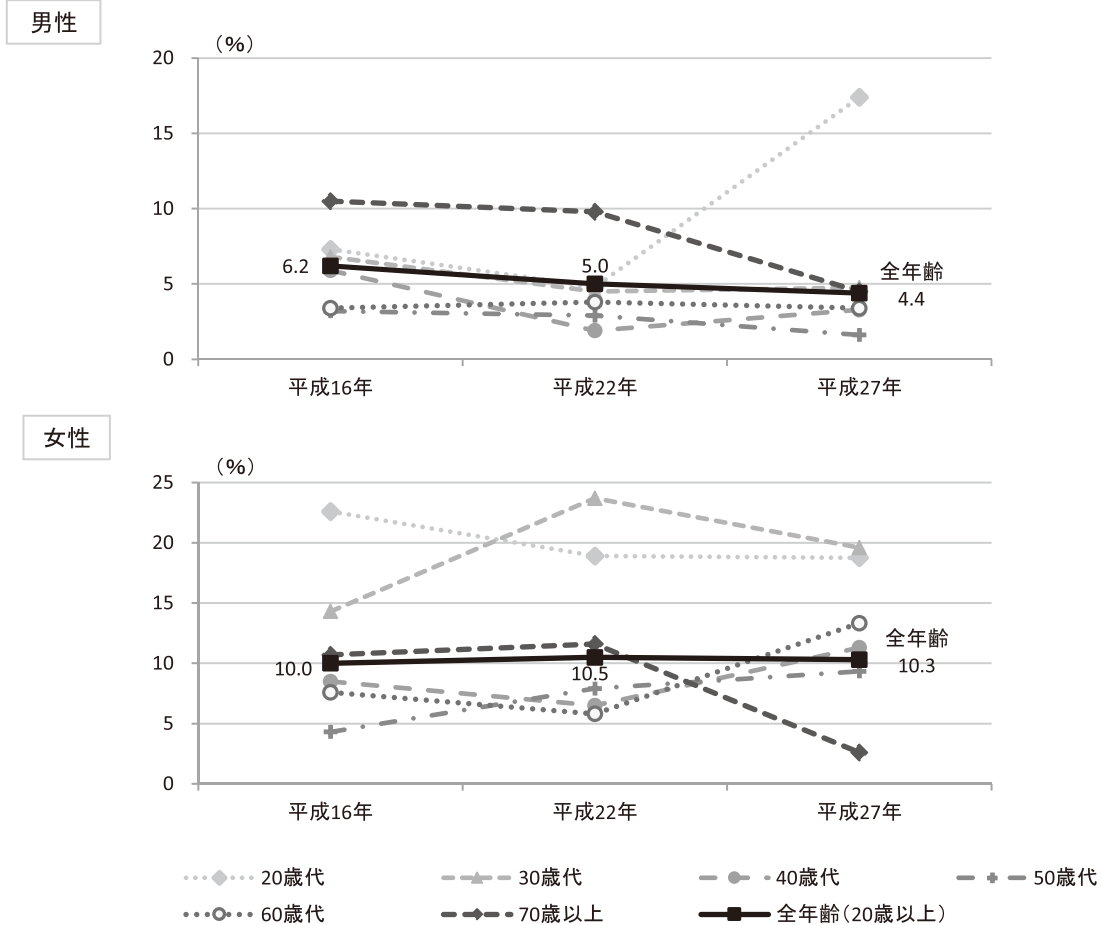


(参考) 第2次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」の目標  
適正体重を維持している者の割合  
肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少  
目標値(平成35年度): 20歳~60歳代男性の肥満者の割合 28%  
40歳~60歳代女性の肥満者の割合 19%  
20歳代女性のやせの者の割合 13%

◆ やせの年次推移

男性のやせは、20歳代の増加が大きかったが、全年齢では減少していた。  
女性のやせは、40歳代から60歳代では増加していたが、全年齢では横ばいであった。

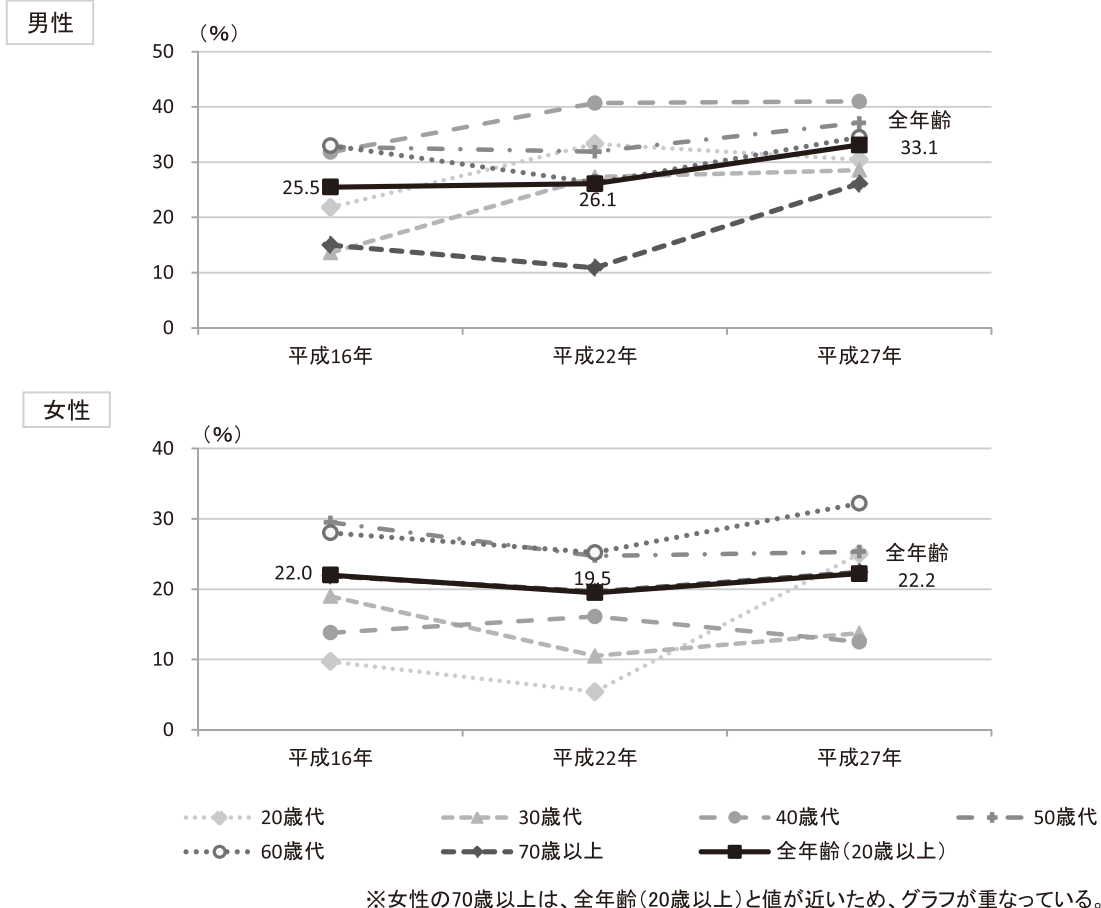
【図103】 やせの年次推移(性・年齢階級別、20歳以上)



◆肥満の年次推移

男性の肥満は、20歳代のみ減少していたが、それ以外の世代では増加しており、全年齢では増加していた。  
女性の肥満は、40歳代のみ減少していたが、それ以外の世代では増加しており、全年齢では増加していた。

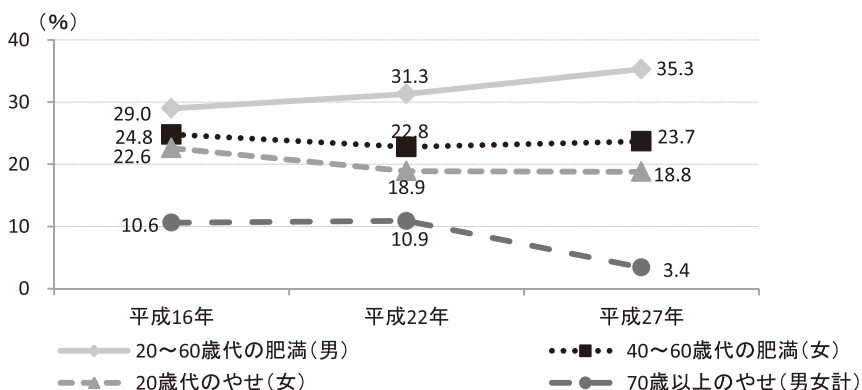
【図104】 肥満の年次推移(性・年齢階級別、20歳以上)



◆特定の世代のやせ及び肥満の年次推移

肥満は、20～60歳代の男性、40～60歳代女性ともにわずかに増加していた。  
やせは、20代女性は横ばい、70歳以上(男女)は減少していた。

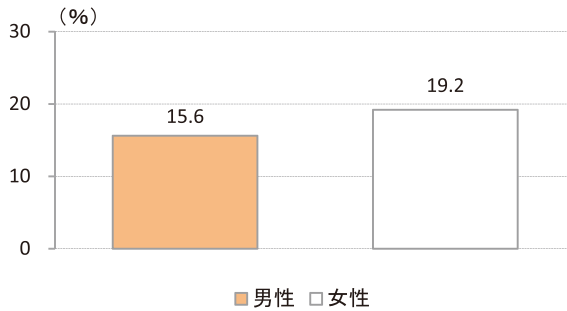
【図105】 特定の世代のやせ及び肥満の年次推移



◆低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合

低栄養傾向(BMI20以下)にある65歳以上の高齢者は、男性15.6%、女性19.2%であった。

【図106】低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合 (65歳以上)



(参考)第2次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」の目標  
低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合  
目標値(平成35年度)：20.3%(平成22年度)から減少させる